

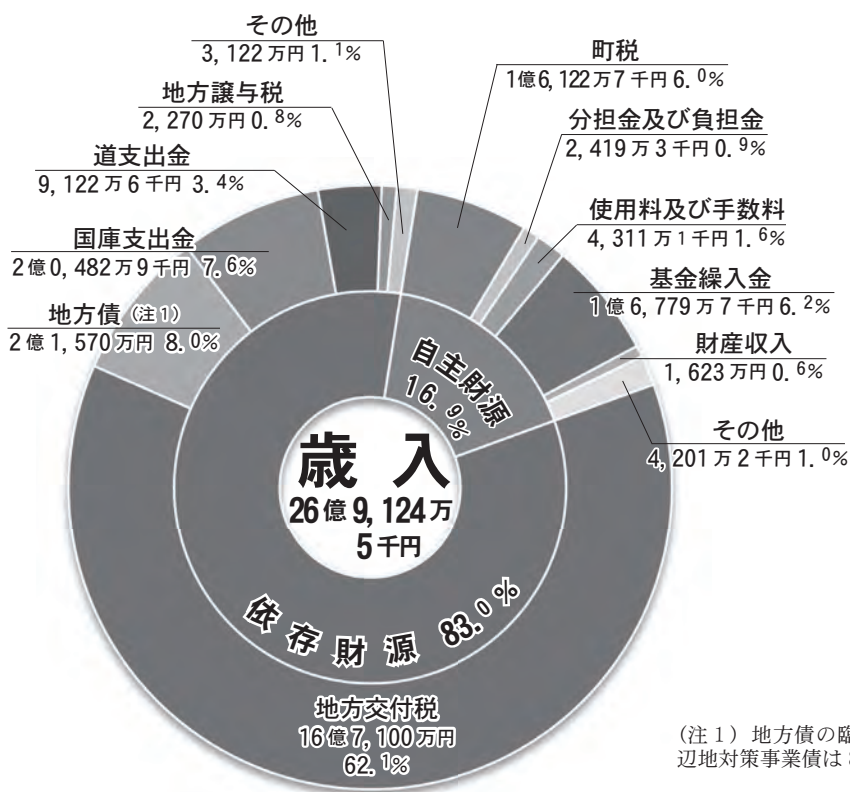
平成28年度

まちの予算の概要

一般会計 26億9,124万5千円 (前年度比 ▲0.6%、1,682万2千円減)
 特別会計 7億 274万1千円 (前年度比 ▲4.6%、3,094万9千円増)
 総 額 33億9,398万6千円 (前年度比 ▲0.4%、1,412万7千円増)

(単位：千円)

会計別	区分	平成28年度 予算額	平成27年度 当初予算額	比較		備考
				増減額	増減率(%)	
一	般 会 計	2,691,245	2,708,067	▲16,822	▲0.6	特別会計繰出金 312,188
特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業	178,207	169,681	8,526	5.0	一般会計繰入金 102,247
	国民健康事業勘定	189,011	167,488	21,523	12.9	" 88,188
	保険事業直診勘定	73,187	74,736	▲1,549	▲2.1	" 13,040
	下 水 道 事 業	60,921	58,446	2,475	4.2	" 50,695
	介護福祉サービス事業	39,587	41,167	▲1,580	▲3.8	" 14,745
	産業交流雇用対策推進事業	124,045	123,089	956	0.8	" 27,015
	後期高齢者医療	37,783	37,185	598	1.6	" 16,258
特別会計合計		702,741	671,792	30,949	4.6	" 312,188
合 計		3,393,986	3,379,859	14,127	0.4	



一般会計予算の概要

＝骨格予算編成＝

3月10日招集された平成28年第1回町議会定例会で決された平成28年度予算は、今年6月に町長選挙が予定されていることから、継続的な事業と公共・行政サービス経費を中心とした骨格予算となっています。

特別養護老人ホーム外構整備事業、海洋センター再生モデル事業、町道島武意通線拡幅改良事業、島武意トンネル改修事業等を計上し、前年当初予算比1,682万2千円、0.6%減の26億9,124万5千円となりました。

(注1) 地方債の臨時財政対策債は100%、過疎対策事業債は70%、辺地対策事業債は80%が償還時に地方交付税で補てんされます。

歳出（目的別）

（千円）

区分	歳出額	構成比	前年度比
議会費	52,734	2.0%	▲6.0%
総務費	820,612	30.5%	▲0.3%
民生費	410,616	15.3%	5.7%
衛生費	145,562	5.4%	2.1%
農林水産業費	142,791	5.3%	39.5%
商工費	73,176	2.7%	▲14.6%
土木費	316,009	11.7%	▲16.5%
消防費	181,923	6.8%	▲1.5%
教育費	197,893	7.4%	▲0.2%
公債費	337,889	12.6%	0.1%
その他	12,040	0.4%	5.4%
合計	2,691,245	100%	▲0.6%

平成28年度の歳入財源確保の見通しについては、国の公共事業や社会保障、人口減少対策等の制度見直しなどに伴う自治体の財政負担の不確定要素が例年になく多い年度となっています。

そのような状況にありながらも、^{まち}町づくりの基本目標である第5次町総合計画をはじめ、新たな子ども・子育て支援事業計画、過疎地域自立促進市町村計画など、町の長中期的な計画に基づく各種の施策事業の着実かつ計画的な推進と、依存財源が特に大きい当町の財政構造の現状を踏まえて、長期的な財政負担と健全財政の維持との両立を図り、慎重に予算編成を行いました。

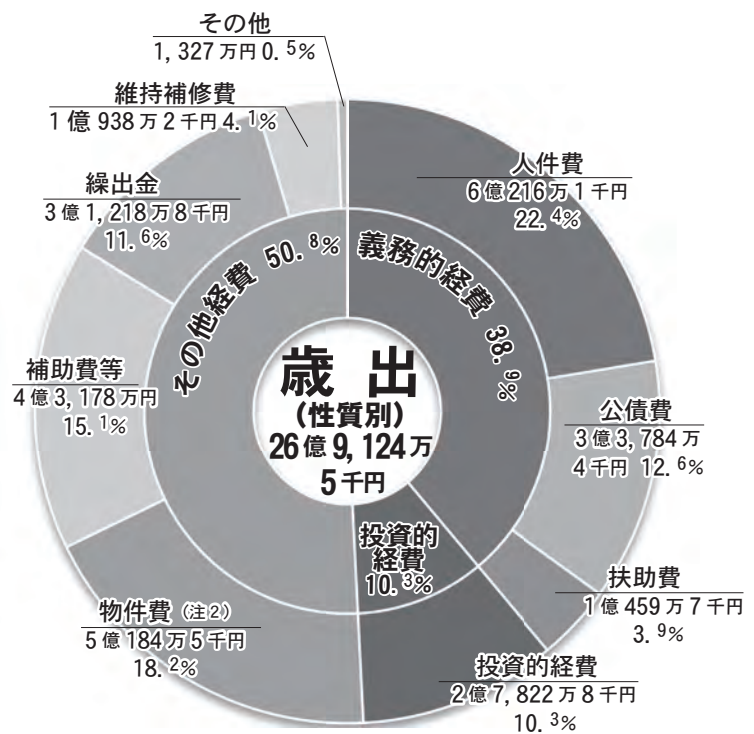
一般会計の歳出予算のうち、人件費、公債費、扶助費などの義務的経費と、消防組合・衛生組合・団体等への負担金や補助金と、特別会計への繰出金の合計だけで、国からの地方交付税見込額の16億7,100万円を超える約17億4千万円と、町の活性化や新たな振興策のための財源に余裕がない財政構造が続いています。当初予算に計上できなかった事務・事業の1つでも多い実施と、基金取崩額の縮減に向けた財政運営に努めていきます。

歳入

町税1億6,122万7千円（前年度比266万2千円、1.7%増）地方交付税は普通交付税15億1,100万円、特別交付税1億6,000万円、合計16億7,100万円（同5,000万円、3.1%増）、地方債は臨時財政対策債7,400万円、過疎対策事業債8,650万円、辺地対策事業債3,320万円、公営住宅建設事業債2,200万円、合計2億1,570万円（同260万円、1.2%減）と基金繰入金1億6,779万7千円（同737万2千円、4.6%増）などを計上しました。

歳出

投資的事業において、国庫補助事業などの採択要望に努める一方、過疎対策事業債、辺地対策事業債など、良質な地方債の活用留意したほか、7つの特別会計の「赤字累積化の回避」を優先するため、3億1,218万8千円（前年度比493万3千円、1.6%増）、うち基準外1億5,481万1千円（同894万3千円、6.1%増）を繰出金として計上しました。



（注2）物件費：賃金、旅費、需用費、委託料等消費的性質の経費

平成28年度 主な事務・事業

町づくりの指針である、第5次総合計画（平成24年度～平成33年度）の5つの基本目標に基づく、平成28年度の主な事務・事業を紹介します。

（注）〇は、国・道補助金等又は地方債

1 豊かな郷土で自ら学び、地域文化を育むまちづくり『生涯学習』

学校教育推進事業 714万6千円

臨時教職員と特別支援教育支援員の配置や、小規模校の長所を生かしつつ、合同授業や合同行事等を通じて教育活動の高度化を目指す調査活動。

海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業 550万円（500万円）

海洋センターを「地域コミュニティの拠点」として多目的高度利用を目指す。

生涯学習推進事業 413万5千円（20万3千円）

少年教室やリフレッシュ学級の実施、生涯学習推進アドバイザーの設置など。

高等学校生徒遠距離通学費等補助金 580万円（570万円）

高校通学費及び下宿費の助成。

2 地域ぐるみでつくる健康、支えあう福祉のまちづくり『町民福祉』

地域密着型特別養護老人ホーム2,200万円（全額） 外構整備事業

社会福祉法人よいち福祉会が実施する地域密着型特別養護老人ホーム外構整備工事費への補助。

健康づくり関連事業 128万円

- ・健康づくり活動に参加した町民に「健康ポイント」を付与し、健康関連等の景品との交換を行う。
- ・万歩計（活動量計）の購入費と基本健康診査受診料の助成を行い、健康づくり運動を推進。

地域福祉交通支援対策事業 292万円

高齢者等の経済的負担軽減のための生活交通対策として、条件を満たす世帯を対象に1万円のサピカカード又はタクシー助成券を交付。

各種健診・予防接種事業 954万6千円（98万1千円）

各種健診事業や、BCG・ヒブ・肺炎球菌等の予防接種事業を実施する。

3 自然と共生し、安全で快適な暮らしを実現するまちづくり『防災・生活基盤・環境』

公営住宅長寿命化改善事業 3,500万円（3,490万円）

美国団地（H6年度建設）1棟12戸の長寿命化を図るための屋上・外壁等改修工事等。

合併処理浄化槽整備事業 2,069万円（424万円）

公共用水域の保全及び生活環境の向上のため、個人合併処理浄化槽の設置費への助成。

橋梁長寿命化修繕事業 3,445万円（3,431万5千円）

道路網の安全性・信頼性を確保するための入舸町中央橋架替工事。

地籍調査事業 990万9千円（517万9千円）

土地境界等を明確にするため、入舸町市街地の地籍調査を実施。

水道老朽管更新事業 2,558万円（2,555万5千円）

昭和47年度に布設した来岸地区の老朽配水管の更新。

消防組織機能強化 669万5千円

防火衣や防火ヘルメット等の救難用備品や救命胴衣等の消防団備品の整備。

4 産業が連携し、豊かな地域資源をまもり活かすまちづくり『産業振興』

日本海漁業振興対策事業 1,102万円

- ・ウニ、ニシン、ヒラメ、ナマコの種苗・稚魚放流
- ・産官学の連携により、サケ類の遡上を促すためのジャカゴ式簡易型魚道と水路と、産卵を促すための自然産卵水路（馴致施設）を設置する。
- ・産官学の連携により、漁業系廃棄物のウニ殻やヒトデを使用し、新素材の農業用ろ材などを研究開発。

農業振興促進対策事業 814万2千円

草地生産性向上対策事業や家畜改良対策事業等農業振興に資する各種事業を実施。

一次産業振興対策事業 406万5千円

鳥獣対策、海獣対策、密漁防止対策等、一次産業の振興に資する各種事業を実施。

5 みんなが主役、未来へつなぐ協働のまちづくり『コミュニティ・行財政』

ふるさと納税推進事業 620万円

町の知名度向上と町内産業の活性化を目的に、寄附者に対し地元特産品等を返礼品として贈呈。

地域間交流推進事業 320万円

「YOSAKOIソーラン祭り」25回を記念し、前夜祭を開催し、統一した衣装を香美市と共同で製作。

地域おこし協力隊推進事業 600万円

漁業振興を行う地域おこし協力隊1名、移住定住等推進体制強化を行う定住支援員1名の配置。

日本ハムファイターズ市町村応援大使事業 180万円

同球団より2選手が町応援大使に決定したことにより、官民連携したまちのPR活動等を実施。